

令和元年 第4回定例会 一般質問内容一覧

日時 12月4日(水) 午前9時30分～(質問順：1番から4番)

場所 新宮町役場 3階 議事堂

質問順	氏名	質問事項	具体的質問内容	答弁者
1番	横大路 政之 議員	1) 広域連携を活用した住民サービスの充実を	<p>中心市街地整備が進み「活気がみなぎる新宮町」が実現できた一方で、地域間格差や世代間格差、産業間格差など様々な格差が出現しているのも現実である。これらの格差を縮小し、住民サービスなどの充実を図る方策として「広域連携」が効果的だと考える。具体例を次に例示し考えを述べるが、町の見解を伺う。</p> <p>1) コミュニティバスを久山町や古賀市などの近隣市町と共同運行することで、人件費をはじめとするコスト削減につながり、また、相互乗り入れ区間を新たに設定することで、これまでバス停がなかった地区の解消など路線拡充にもつながるのではないかと考えるが、町の見解は。</p> <p>2) 鳥獣被害対策のためにシビエ加工システムの構築やイノシシやシカの防護柵の設置などを糟屋・宗像地区などの広域で行うことで、より効果を発揮し、農業者の生産意欲や所得の向上につながると考えるが、町の見解は。</p> <p>3) その他にも広域連携することで効果的な事務事業が考えられないか伺う。</p>	町長
2番	大牟田 直人 議員	1) 地域で支え合い、災害への備えを	<p>近年、台風や大雨による被害が各地でおきている。いつどこで被害が生じるか予測できないため、日頃の備えが必要だと感じる。そこで次のことを伺う。</p> <p>1. 今年各地で発生した豪雨と同程度の雨が町に降った場合、河川の氾濫などが考えられると思うが、避難所への浸水等の懸念はないか。</p> <p>2. 災害時には住民同士が助け合いながら早めの避難が大切であると感じる。支援が必要と考えられる人の支援体制や避難経路は平時から構築しておく必要があると感じるが現状は。</p> <p>3. 支援が必要と考えられる人と住民との関わりを地図に落とし込み、支え合い活動の状況を把握し、地域の課題を抽出する「支え合いマップ」を作成し、地域のつながりを見える化することにより福祉や防災における共助に生かしている自治体がある。町でも社会福祉協議会と連携し作成を推進できないか。</p>	町長
		2) 人一倍敏感な児童生徒への理解と配慮を	<p>感受性が豊かで、他人の気持ちによく気がつく一方、周囲の刺激に敏感で傷つきやすい人一倍敏感な子ども「ハイリーセンシティブチャイルド(HSC)」は5人に1人存在すると言われている。周囲の無理解に苦しむケースが多く、不登校の原因にもなっていると報道されている。このような子どもに対しての配慮や教職員の知識が必要であると考えますが、町で現在行っている取り組みや今後の計画は。</p>	町長 教育長
		3) 中学校での子育てサロンの実施を	<p>多くの自治体で、中学校で子育てサロンが実施されており、中学生の子どもたちと、乳幼児、その保護者との交流が行われている。平成28年第3回定例会の一般質問において、町での中学校での子育てサロンの実施について1,000人規模の中学校での実施は困難であるという答弁を受けた。今年度より中学校が分離し、状況が変わったと思うが中学校での子育てサロン実施はできないか、見解を伺う。</p>	町長 教育長
3番	濱田 幸 議員	1) 新宮漁港駐車場を含む渡船場周辺の環境整備を	<p>近年、相島への観光客が増加したことにより新宮漁港駐車場の利用者も増え、それに伴い周辺のごみ箱からはごみが溢れ、周辺には悪臭が漂う不衛生な環境で漁港の景観も損ねている状況である。また、新宮漁港駐車場の西側奥には不法投棄と思われる不燃ごみなどが長年にわたり放置されたままになっている。渡船場周辺は相島への玄関口としての顔であり、今後、特段の対策を講じないままであれば、新宮町のイメージにも悪影響を及ぼすだけでなく、大規模火災の発生も危惧される。そこで次のことについて伺う。</p> <p>① 渡船場周辺のごみの年間処分量、また、それに係る費用や実施主体は。</p> <p>② 新宮漁港駐車場西側奥の放置ごみの現状と、現在までの対策・対応状況は。</p> <p>③ 新宮漁港駐車場を含む渡船場周辺の環境整備対策の必要性があると思うが見解は。</p>	町長
		2) 新宮漁港周辺に生息する猫の対策と全町的な地域猫活動の推進を	<p>もともと新宮漁港周辺には、ある程度の数の猫は生息していた。しかし、近年の猫ブームで餌を与える人が増え、それにより猫の栄養状態が良くなり出産回数が増え、子猫の数も年々増加しているとのことである。その上、他所から猫を捨てに来る人までもいるとも聞き、現在では70匹前後が生息していると思われる。このまま増え続けると、縄張り争いで生息地域が漁港から近隣の地域へと拡がり、糞尿や鳴き声の問題で苦情が出ることも懸念される。そこで次のことについて伺う。</p> <p>① 現在新宮漁港周辺に生息する猫について、町はどのように捉えているのか。また、現在までの対策と今後の対応を伺う。</p> <p>② 今後も増えていくことが懸念され対策の必要性があると思うが見解は。</p> <p>③ 全町的に地域猫活動を推進していく必要があると思うが見解は。</p>	町長
4番	安武 久美子 議員	1) 住民にさらに寄り添った窓口対応を	<p>身内が亡くなると遺族は14日以内に諸手続きをしなければならないが、窓口で死亡届を提出後に、税務課、健康福祉課、子育て支援課(シーオーレ新宮)など多くの課を回らなければならない。他にも産業振興課、環境課、上下水道課と関係する課は最大7課15項目に及び、時間もかかり、不安も感じるなど遺族の方にとっては心身ともに大変な負担がかかっている。また、遺族が準備する書類などは多岐にわたり、一度で済まないケースもあると聞く。そこで次の2点について伺う。</p> <p>(1) 死亡届に関しては、手続きがスムーズに進むように「おくやみ窓口(仮称)」を開設している自治体がある。例えば、大分県別府市は職員が次の窓口まで付き添うリレー方式、静岡市葵区では名前や住所などを一括で入力できるシステムを導入し、職員が必要書類を作成補助し、窓口に来られた住民の方は動かずに手続きが完了する方式を取り入れており、とても評判が良いと聞く。町でもこのような対応はできないか。</p> <p>(2) 証明書交付など全般の手続きについて、窓口での申請書誤記入をなくし、手続き時間短縮と事務効率改善のために、「手続き総合サービス員(仮称)」など、記入の指導や何でも相談できる職員の配置ができないか。</p>	町長

※質問事項、具体的質問内容については、原文のまま記載しています。

※役場、シーオーレ新宮、そびあしんぐらうにおいて、議会中継を行っています。ぜひ一度ご覧ください。

※お手元のパソコン及びスマートフォンから新宮町議会にアクセスしてください。議会中継・録画配信を行っています。ぜひご覧ください。

※議場での傍聴を希望される方は、当日午前9時から役場3階 議会事務局前で受付を行っていますので、お越しください。

※詳しくは、役場議会事務局 TEL 963-1737(直通)までお問い合わせください。

議会の傍聴にお越しください。